

○委員長（見付 宗弥）

- ・ 欠席委員連絡（板倉委員）
-

○委員長（見付 宗弥）

- ・ 開会宣告
 - ・ 議題の確認
-

1 調査事件

(1) 函館市病院事業経営における今後の対策について

○委員長（見付 宗弥）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、8月30日付けで資料が配付されている。当該資料に関して、担当部局から説明を受けたいと考えているが、各委員いかがか。（異議なし）
- ・ それでは、理事者の入室を求める。

（病院局 入室）

○委員長（見付 宗弥）

- ・ それでは、資料について説明をお願いします。

○病院局管理部経理課長（熊木 武）

- ・ 資料説明：令和2年度（2020年度） 函館市病院事業の経営実績および（新）函館市病院事業改革プランの点検・評価（令和3年8月30日付 病院局調製）
- ・ 最後に、8月30日の評価委員会の概要について報告させていただく。ただいま説明した資料について事務局から報告した後、各委員から御質問・御意見をいただいた。その主なところとしては、コロナを引き受けながら地域の基幹病院としての役割を果たし、素晴らしい業績を上げた皆さんに敬意を表したい。C評価となったDPC特定病院群と精神病棟再開については、今後どうしようと考えているのか。などという発言があり、病院局長や委員長等から、DPC特定病院群については、病院の土台をつくって、その結果として特定病院群になればいいということで、特定病院群になるために何かを変えていくということは考えていない。精神病棟再開については、昨今の精神科治療のあり方を検討し、単に精神病棟を開けるということではなく、救命救急センター、がん拠点病院である中の精神科の役割を考えていき、経営のために精神病棟を開けるという考えを持たないようにしている。などといった趣旨の説明がされたほか、最後の委員会ということで、各委員から応援のコメント等をいただいた。当日の議事概要は、毎回、評価委員会開催からおおむね1か月を目途に病院局のホームページにアップすることとしており、今回は今月30日を目途にアップするべく作業を進めているところである。アップでき次第、連絡させていただく。
- ・ なお、例年この時期には、4月から6月までの第1四半期の経営状況について報告しているところであるが、新たな改革プランの策定に必要な総務省のガイドラインが現時点でまだ出されていないこ

とから、改革プランは一度中断という形になっており、民生常任委員会への四半期ごとの報告も一時中断とさせていただきたいので、よろしく願います。

○委員長（見付 宗弥）

- ・ お聞きのとおりである。ただいまの説明について各委員から何か発言あるか。

○金澤 浩幸委員

- ・ DPC特定病院群の指定と精神病棟再開を目指すということは、前局長の下で旗を振り上げてやっていこうという話だったが、氏家局長に替わり、そういうのを目指すことが今ではいい経営ではなくて、ちゃんとした土台をつくった病院をつくり上げていくことによって信頼も得ていくだろうし、また、精神病棟については、今はそういう状態ではないということを、評価委員会で局長が発言されたという中身を確認できたので、よくわかった。

○富山 悦子委員

- ・ 分娩件数——資料の4ページのところだが、今回コロナ禍になり、千葉県での妊産婦の事故などがあった。その後、函館市の体制としては、函病に妊婦さんを入院させるという報道があったが、ベッド数はどのようになっているのか。

○病院局管理部長（桐澤 睦巳）

- ・ 現在、函館病院では重症系を24床、中等症・軽症を16床、合わせて40床の中で運用させていただいている。現在も20名の方——重症系は3人、中等症・軽症は17人入院している。この中に、妊産婦さんが入ってくれば、空きベッドの状況に応じて対応するという形になる。

○富山 悦子委員

- ・ 妊婦さんは別じゃなくて、この中に入っていくということか。そういう対応なのか。

○病院局長（氏家 良人）

- ・ もちろん分娩のときは別になるが、分娩がない間は同じような形になっている。これについては、決して市立函館病院がやりたいということではなかったが、ほかで受けるところがないということで、我々が——それを最も得意とするということではないのだが、それも受けるということにした。千葉での問題があったので、いち早くその決定をするということにした。

○荒木 明美委員

- ・ 先日の経営改革評価委員会を函病の中で傍聴させていただいた。これまで私が体育館というか講堂で傍聴していた頃のどうなるのだろうという不安感とは打って変わって、本当に最後にいい締めをいただいたなというふう感じた。
- ・ 特に資金不足比率が17%というところが、これも1桁にできて、そして起債も発行できると。これを本当にゼロベースに戻して、病院局が考える函館または道南の地域医療についてやっていくことができるのだなということを、その場で私も共有できて本当によかったと思っているので、これからもよろしく願います。

○委員長（見付 宗弥）

- ・ 他に発言あるか。（なし）
- ・ 理事者は退室願う。

(病院局 退室)

- ・ 議題終結宣言
-

2 その他

○委員長（見付 宗弥）

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午後3時07分散会